

平成28年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会 祝辞

平成28年7月15日(金)
今治市総合福祉センター

平成28年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会の開催を心からお喜び申し上げます。皆様方には、日頃から本県教育行政の推進に格別の御尽力をいただいております、厚くお礼申し上げます。

また、後ほど、永年にわたり教育の振興に精励された御功績により表彰を受けられます皆様方には、その御栄誉を心からお称え申し上げますとともに、今後とも本県教育の発展に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、御当地、今治市は、全国に誇る海事都市でございますが、技術者の多くが高齢化し、若手の育成が課題となっております中、県教育委員会では、本年4月、今治工業高校に機械造船科を新たに設置いたしますとともに、文部科学省のスーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの指定を受け、地域の企業と連携して、生徒を将来の地場産業を支える職業人として育てる「地学地就」による人材育成を図っていくこととしております。地域で学んだ子どもたちが、大人になって地域の産業に従事し、地域の発展に貢献するとともに、地域を担う子どもたちを育てていく、といった好循環の確立を目指して、県教育委員会では今後とも「地学地就」を推進することとしておりまして、同校における取組を通じて専門的な職業人の育成モデルを構築し、ほかの職業高校にも広めていきたいと考えております。

また、社会情勢の変化が目まぐるしく、先の見通しを持ちにくくなっております中、地域課題に主体的に取り組む姿勢や解決策を見いだしていく力を育むため、知識・技能の習得だけでなく、自ら課題を見だし、その解決に取り組むというアクティブ・ラーニングの経験を積み重ねていくことが必要となっております。その際、重要となるのが多様性でございます。自分の考えにとらわれず、様々な価値観や意見に学び、他者の立場で物事を考えられる「他者感覚」が備わってこそ、新たな発想も生まれ、他者と協力して物事を進める協働性も身に付いていくものと考えます。このアクティブ・ラーニングにつきましては、今年度から、10の高校を拠点校として位置付け、実践的な研究を進めていくことにしております。

一方、国におきましては、教育制度に関して大きな動きが続いておりまして、本年4月1日から、地域の実情に応じた柔軟な取組を可能とするため、小中一貫教育を行う義務教育学校の設置が可能となりましたほか、小学校からの英語教育の充実、高校・大学の接続の在り方、道徳教育の充実など、様々な教育改革が進行中であります。本日は、文部科学省の今井教育改革調整官をお迎えして、国の教育改革の最新の動向について御講演いただくこととしておりますが、県教育委員会では、今後とも、市町教育委員会との連携を密にし、国の動きを注視しながら、より良い改革となりますよう、教育現場の声の反映に努めてまいりたいと考えております。

全国高等学校野球選手権愛媛大会も開幕し、暑い夏を迎えております。県教育委員会といたしましては、チーム愛媛として、皆様と一緒に本県教育の振興に努めてまいりたいと考えておりますので、県の取組に御理解、御協力を賜りますとともに、率直な御意見や御提案をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

終わりに、愛媛県市町教育委員会連合会の益々の御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。